



2022年度の協会計画研修と研修移管に向けた取組みについて

研修部

2022年度の協会計画研修は、東西研修センタ合わせで91コースを予定しております。また、2022年度より本格化される各社への研修移管に向けた取組みを現在進めております。

その2点について紹介します。

1. 2022年度の協会計画研修

2022年度、協会計画研修として継続する研修は以下(表1)の5項目に分類/定義しておりますが、一部の移管が延伸される研修も含め、11月の人材育成委員会にて了承され、下記(表2)の通り、91コースの研修を予定しており、各社からの受講ニーズ調査結果を踏まえ年度末までに実施コースを確定します。研修は今年度同様、内容によってリモート研修を最大限活用しながら実施していくこととしております。

なお、研修を実施するにあたり、適宜、テキストや講義内容等を人材育成分科会メンバーを中心に見直し、より分かりやすい研修を目指して参ります。

研修後の受講者アンケートでいただけるコメントも貴重な要素となりますので忌憚のないご意見をいただけると幸いです。

2. 2022年度研修移管に向けた取組み

次年度の各社での研修実施に向けた対応が本格化しており、グループシナジーを活かした研修計画策定や人材育成分科会メンバー(講師含む)との相互連携・協力、ITEAのこれまでのノウハウ等の移管が活発化しています。2021年9月号においても移管に向けた取組みを掲載しましたが、一部変更点や具体的な取組み状況について紹介します。

(1) 研修移管説明会などの実施

各社の人材開発ラインや人材育成分科会メンバーと研修実施ポイント等を踏まえた移管説明会や実際の集合研修やリモート研修模様の聴講を随時実施。

基礎系研修では、ITEA講師が担う講義のテキスト内容、時間配分、研修実施ポイント等について各社の講師メンバーや人材開発ラインの方々々に説明をさせていただいたり、コロナ感染防止対策のため中止としていた基礎系研修の測定・安全体感実習を次年度からの会社計画研修を見据え、会社ごとに10月~12月にかけて実習教室や電力棟をご利用いただき、会社講師とITEA講師が移管を意識しながら連携し実習研修を実施しています。

また、講師メンバーからの実習模様のデモンストレー

表1 協会計画継続研修の種類

項目	考え方(理由)
発注者様への委託研修	講師・設備等、発注者様に依存する委託研修(要望・協力要請等一元化)
発注者様の認定研修	NTT資格認定に伴う研修レベル統一化研修(NTT様との調整等一元化)
業界内レベル統一研修	安全確保/設備事故防止、発注者品質確保等、業界全体の知見やノウハウを集結し、レベルの統一の向上に資するコア的な研修(コアの研修とは各社核要員育成・会社研修講師育成等を指す)
特殊事情研修	設備調達が困難な研修、多数の部外講師を要請する研修、研修運営等において特殊事情のある研修
ITEA施策研修	NTT様要望、社会貢献等、当業界に直接かわからない研修

表2 研修形態別計画状況

	東日本	西日本	計
リモート	36	4	40
集合	19	23	42
eLPIT	9	0	9
計	64	27	91

91コース：設計工事59、資格法令19、安全6、保守5、新入社員1、ヒューマン1

[参考] 移管(廃止含)コース

84コース：設計工事39、安全20、保守18、資格法令3、新入社員4

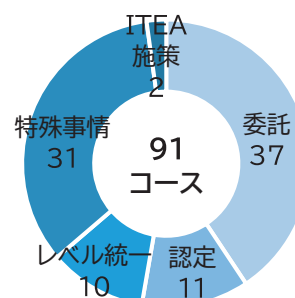


図1 協会計画項目別

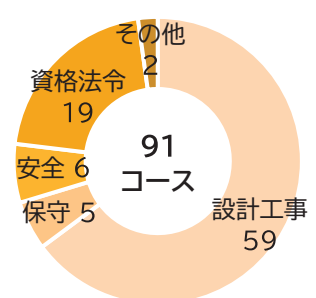


図2 研修分野別

ションを別途開催して欲しいとのご要望を受け、10月下旬に東日本研修センター（岩槻）内の実習室にて各種測定器の取扱い方法や安全実習と称して二重床死角体感、落下体感（人形）、脚立昇降体感等を織り交ぜて可能な限りインストラクション面についての移管を進めております（写真1・2）。

(2) 円滑な研修移管に向けた講義動画提供

研修移管に向け会社講師育成等を目的として進めている講義動画については、講師並びに受講者のご理解とご協力をいただき作成が完了した7コースについて昨年11月よりストリーミングでの動画提供を開始。作成中の8コースについては、2022年1月から3月にかけて提供予定です（表3）。

また関連するテキスト、副教材類を簡易にダウンロードできるようにテキスト類を電子ファイル化、ITEA研修サポートシステムより閲覧可能とし、利用を希望される

会社様から申請をいただきご活用いただいております。講義動画等の視聴においては、複製・改変の禁止等の留意事項を遵守し、ご活用願います。

引き続き、各社様からの移管に伴う要望等があれば対応させていただきますので、ご連絡をお待ちしております。

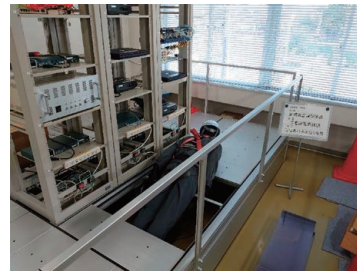


写真1 二重床落下体感（人形）



写真2 脚立昇降体感

表3 講義動画提供状況一覧（15コース）

No	コース名	形態	提供状況	主管	分類
1	基礎研修線路科	集合	提供中	東研修C	新入社員
2	基礎研修所内科	リモート		東研修C	新入社員
3	基礎研修電力科	集合		東研修C	新入社員
4	メタリックケーブル接続科	集合		東研修C	設計工事
5	光ファイバケーブル<地下>保守研修科（指導者）	集合		東研修C	保守
6	メタリックケーブル<地下>保守研修科（指導者）	集合		東研修C	保守
7	安全パトロール研修科（線路）	リモート		東研修C	安全
8	P S F 分析手法研修科（所外）	リモート	作成中 (2022年1月提供予定)	西研修C	安全
9	設備事故防止対策科（電力）	集合		西研修C	安全
10	設備事故防止対策科（所内）	集合		西研修C	安全
11	電気通信土木設備基礎知識習得科	リモート	作成中 (2022年3月提供予定)	西研修C	設計工事
12	危険体感安全研修科（所外）	集合		東研修C	安全
13	主任技術者等研修科（新任所外）	リモート		東研修C	設計工事
14	光アクセスシステム設計科	リモート		東研修C	設計工事
15	基礎研修ユーザ宅内科	集合		東研修C	設計工事

TN加入光用クロージャの適用【参考】

非ガス区間の加入者光ファイバケーブルに適用し、ケーブル相互およびテードロップの相互光ファイバ心線の収納に使用される。TN:Triple N (Non-gas, Non-water, Non-sealing tape)

TNクロージャの適用

TNクロージャ種別	心線収納用品枚数(※)	ポート数	収容制限
LA(Low Accommodation)	18以下(24)	6(片面:3)	・分岐ケーブル4条 ・テードロップアダプタ4個
HA(High Accommodation)	40以下(65)		

※非ガスクロージャ用心線収納用品「HD」の枚数。()内は旧物品の場合の枚数

ケーブル・ドロップの適用

ケーブル	適用ケーブル外径	備考	
ケーブル	8mm~33mm	外径34mm以上、または両端コネクタ付きWBSケーブルの場合、4号スタンダードクロージャを適用する	
ドロップ	1. 2心 4T心 8T心		
	×	○	○

TNクロージャの適用箇所

適用箇所: HHT, WBS7-7.5等, HHT, CAB等

架空区間

講義動画映像（例：光ファイバ地下保守研修科）